

3歳(年少)におすすめの通信教育ランキングの根拠について

当メディア「ミツカル教育通信」は、コンテンツ制作における理念を掲げ、これを全記事で遵守しています。

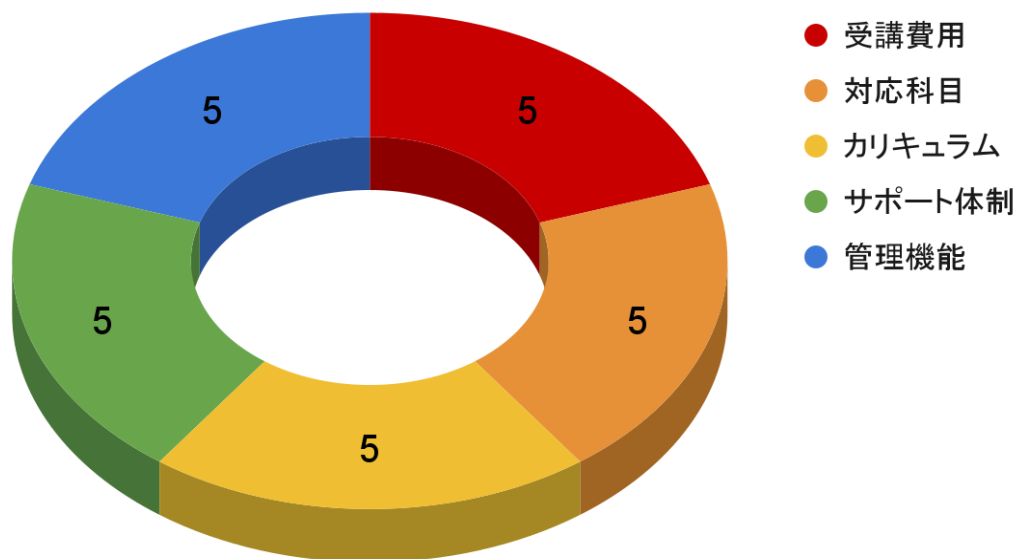
当メディア「ミツカル教育通信」は以下の3つを約束します。

- ・記載されている情報が恣意的に操作されていない公平なものであること
- ・記載されている情報が一次情報に基づく誤りのない情報であること
- ・メディアに訪れるユーザーの疑問や悩みに寄り添い、親身になって答えや解決策を提示すること

[ミツカル教育通信におけるコンテンツ制作ポリシー三ヶ条](#)より

そのためランキングは、ユーザーに客観的な事実をお伝えすることと公平性を守ることを目的に、一次情報の教材公式サイト及び保護者からの情報のみに基づいて作成をしています。採点については集めた情報を精査&分析して、その内容から点数を決定し、最終的に順位付けを実施しています。

配点の内訳



配点は教材選びにおいて、とくに重視されることの多い「受講費用」「対応科目」「カリキュラム」「サポート体制」「管理機能」の5項目をそれぞれ5点満点、つまりは合計25点満点としています。

採点の根拠

● 受講費用(5点)

受講費用の点数は、基本的に公式サイトに掲載されている料金が安ければ安いほど高い点を与えています。

言うまでもなくリーズナブルな教材ほど、お子さんを受講させやすいからです。また、返金制度がある場合は基本的に加点をしています。

しかし、ただ単に安ければいいという訳でもありません。

例えば教材Aより教材Bの方が月に2,000円高かったとしても、教材Bの方は学習サポートが圧倒的に手厚ければどうでしょうか？

多くの親御さんは、教材Bを受講させたいと思うことでしょう。

そこで公式サイトを受講費用だけを見るのではなく、X(旧Twitter)の投稿なども参考にし、実際の保護者が当該教材を安いと感じているか？高いと感じているか？も重視して採点を行っています。

● 対応科目(5点)

幼児向けの通信教育は対応科目が重要です。対応科目の点数については公式サイトを見て、科目の数を調査して点数づけを行なっています。

例えば幼児の通信教育で最も有名な教材の一つである「こどもちゃれんじ」は、ことば・ひらがな・数・図形・考える力・生活習慣・人と関わる力・好奇心・音/リズム・表現の10のテーマを年間で学ぶとしています。

このようにさまざまな科目(テーマ)に触れられる教材は、お子さんの能力を多面的に鍛えられるとして高評価にしています。

● カリキュラム(5点)

幼児向けの通信教育のカリキュラム評価では、学びやすさを重視しています。

例えば、親しみやすいキャラクターがたくさん登場する教材や紙とタブレットを選択できる教材などには高い点数を与えています。

また、レッスン後にゲームが遊べるようになるなど、ご褒美がある教材も習慣化・継続しやすいという観点から高評価を与えています。

● サポート体制(5点)

幼児向けの通信教育を選ぶ際は、サポート体制もしっかりと確認しておくことが必須です。なぜなら幼児は学習経験が乏しく、ただ教材を送りつけられるだけの教材だと十分な学習効果を得られないことが考えられるからです。

忙しい親御さんは、お子さんと一緒に学習する時間も多くは取れないでしょう。

そこで動画や音声などのサポート体制で、お子さん一人でも学習を進められる教材は高評価にしています。

● 管理機能(5点)

幼児向けの通信教育は管理機能も大事です。

例えば、お子さんの学習・進捗状況が日々メールで送られてくる教材などは高評価にしています。

お子さんの学習進捗を知れば、安心できるでしょう。

ランキングに掲載した教材の採点根拠ページ一覧
(複数ある場合は1ページのみ掲載しています)

教材名	公式サイトURL
 <p>スマいるぜみ 幼児向け通信教育</p>	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
 <p>こどもちゃれんじ</p>	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
 <p>Z-KAI</p>	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
 <p>全家研 月刊ポピー</p>	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
 <p>天神 Multimedia Learning System TENJIN</p>	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制

	管理機能
	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能
	受講費用
	対応科目
	カリキュラム
	サポート体制
	管理機能